

上田市公文書館だより/第43号

■公文書館から

◆ 新生上田市が誕生して20年となりました ③

令和8年3月6日で、新上田市が誕生して20年となりました。今回も公文書館が収蔵する合併関係資料について御紹介します。

○ 新上田市誕生（開市式・開庁式綴から）

平成18年3月6日、新上田市が誕生し、上田市役所本庁舎や各地域自治センターでは、開市式、開庁式が行われました。開市式では「くす玉割り」が行われ開市が宣言されたほか、式辞で堀内市長職務執行者から、「新市は上田地域発展の大きな原動力。市民が融和し、それぞれの個性が集合してこそ可能になる」とのあいさつがされ、新市の一体感づくりが呼びかけられました。こうして、新上田市は新たな一歩を踏み出しました。（浅野）



開市式・開庁式

■公文書館の催し

企画展 「新上田市」誕生のあゆみ（上田市誕生20周年記念事業）

- 期間 令和8年7月30日(木)～9年2月28日(日) ■会場 公文書館1階ホール ■観覧 無料
■内容 平成14年8月から18年3月までの合併の経過について、年表や8つのトピックスの写真、原本資料等を展示し、紹介しています。

第25回公文書館所蔵資料企画展

明治23年「丸子村の旅費規則」、大正10年「故一茶庵雨路翁碑関係資料」など ～明治から昭和の公文書にみる上田市の歴史～

- 期間 9月19日(土)～12月20日(日) ■会場 公文書館1階ホール ■観覧 無料
■内容 上田市公文書館所蔵の原本資料9点、関係写真18点、計27点を展示。

第22回公文書館講座のお知らせ

「第25回公文書館所蔵資料企画展」資料を用い、分かりやすく解説する講座です。

- 日時 令和8年11月21日(土) 13時30分～15時 ■会場 公文書館2階閲覧室
■講師 倉澤 正幸(上田市公文書館専門事務員) ■参加料 無料 ■定員 先着20名
■申込 令和8年10月1日(木)から11月20日(金)までに上田市公文書館へ電話で(要申込)

■公文書館のご案内 開館時間：9時～17時(最終入館は16時30分までに)



□住所・電話

〒386-0413 長野県上田市東内 2564-1
TEL0268(75)6682 Fax0268(75)6683

□メール

kobunshokan@city.ueda.nagano.jp

□ホームページ

<https://www.city.ueda.nagano.jp/site/kobunshokan/>

HPリンク



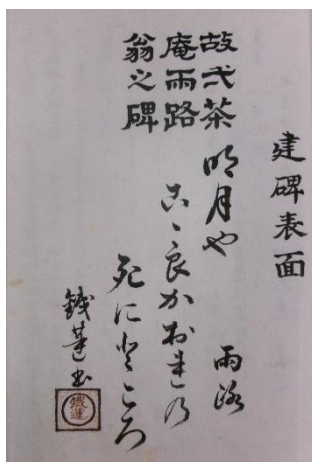
「故一茶庵雨路翁ノ碑建設報告ノ辞」文書（大正十年）

◆大正十年（一九二一年）、九月、発起者代表清水善作氏の名前で、「故一茶庵雨路翁ノ碑建設報告ノ辞」文書が『故一茶庵雨路翁之碑関係資料綴』に保存されています。この文書では「翁は天保三年、東筑摩郡北小野に生まれ、姓は矢彦、名は知充（ともみつ）。壮年の（明治）維新の際には官軍に従い、長岡・会津等の戦争に参加した。」などと記しています。

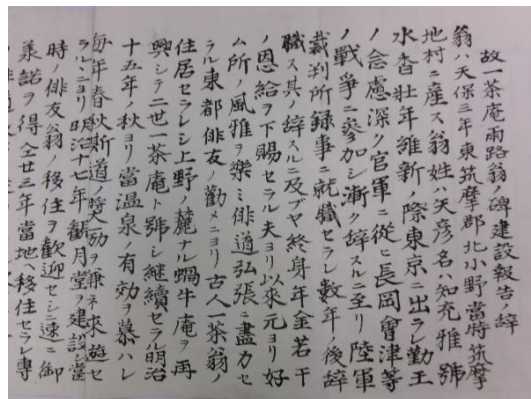
◆矢彦雨路（やひこうろ・一八三二〜一九二〇年）は現在の塩尻市北小野出身で、明治から大正時代に活躍した俳人です。東京で小林一茶の顕彰に尽力し、一茶の住んだ上野の付近に蝸牛庵（かぎゅうあん）を再興し、二世一茶庵と号しました。

◆明治十五年秋からは霊泉寺温泉を度々訪れ、この温泉を気に入り、明治二十三年、五十九歳の時に終焉（しゅうえん）の地と決めて一茶庵を結び、地域の俳句愛好者を指導しました。しかし明治三十八年四月、霊泉寺集落で大火があり、雨路の自宅も類焼し、郷里の北小野に帰住しました。大正九年十二月二十七日、病氣のために満八十八歳で亡くなりました。

◆翌年一月に知らせを受けた霊泉寺温泉の関係者は多数の篤志家の支援を受けて、大正十年四月に雨路翁碑の建設に着手し、九月十四日に建設を終了しました。碑には雨路翁の辞世の句とされる「明月やここらがおれの死にところ」の句が刻まれ、九月二十五日には除幕式が盛大に行われました。（倉澤）



雨路の辞世の句とされる



大正 10 年「雨路翁ノ碑建設報告ノ辞」

■公文書館の利用について

※公文書館は入場無料、郷土博物館展示室は有料（大人 100 円）



- 資料の検索：目録検索システムをご利用ください。また、お電話等でも資料の有無などについて、お気軽にご相談ください。
- 閲覧の申込：所定用紙でお申込みください。メール、ファックスでもお申込みできます。一度に閲覧できる点数は「5点」までです。
- 資料の閲覧：個人情報の審査終了後、閲覧の可否を連絡します。館外貸出しは行いませんので、館内閲覧室でご覧ください。

◎審査にお時間をいただく場合があります。また、個人情報を含む資料は閲覧できない場合があります。

◎目録検索システム、閲覧申込書は、公文書館ホームページをご覧ください。